

3月の園だより

令和6年3月1日
目黒区立菅刈保育園長

園庭には菜の花が咲き、子どもたちは小さな花びらを一つひとつ摘んで取っては、ままごとの具材等にして遊んでいます。

先日、りす組とうさぎ組と一緒に転がしドッチをしていました。最初に**あ**たってしまったのはうさぎ組。一瞬悔しそうな顔をしながらも外野に出て真剣な表情でボールを転がします。**り**す組がいても容赦せず真剣に転がしています。次に当たったのは、りす組でした。当たってしまった子は「当たった」と保育士に確認します。「今のは当たったね」と言うと「なんでだよ」と悔しそうに保育士に怒っています。「嫌だったよね。でもそういうルールなんだよ」と言っても「嫌だ」とのこと。遊びのルールは遊びを楽しめるように確認するものですが、子どもたち一人ひとりの理解度は同じではありません。ルールを確認した時と自分がボールに当たった時では思いに大きな差があったようで、内面の感情をどう処理してよいかわからずに混乱しているようでした。りす組にとってはまだ難しいのかなと思っていた時、うさぎ組の子が「大丈夫」と声をかけてくれました。その言葉に「うん」と頷き、ずっと外に出てやり始めました。「大丈夫」と優しく寄り添う言葉をかけてもらい、内面の葛藤を乗り越えることができました。異年齢のお兄さん、お姉さんの力は大きいですね。

また、他のうさぎ組の子が「図鑑ください」と事務所に来ました。「何を見るの」と聞くと「あのね。ピオラ」「〇〇はピオラっていうけど、他の先生はパンジーじゃないかって言うんだけど」とのこと。園庭のプランターに咲いている花のことに関心が集まったようです。2冊の本を渡し、しばらくすると「載ってなかった」「中が黒くなっているのがピオラかな」「大きさも違うね」等比べて観察しているようでした。実際の所、私もこの2つの違いはわかりません。答えはどちらなのでしょう。友達と見比べながら“相談する”“決める”の経験を通しお互いの意見をすり合わせ、同じ目的を達成する喜びとなっているように思います。

きりん組は後一か月で卒園です。小さい子に優しく接してくれたこと、かっこいい姿をみせてくれた姿等、みんなのあこがれでした。きりん組さんと進級する子どもたちの“一日、一日が充実”することを大切にしていって、一人ひとりの成長の姿を認め主体的に自信を持って過ごす姿を大切にしていきたいと思います。

今年度一年間、保護者の方と一緒に子どもの成長を共に見守らせていただきありがとうございました。



《3月の行事予定》

身体計測（乳児クラス）
身体計測（幼児クラス）
卒園式
避難訓練

仲良し散歩（幼児クラス）
新クラスへの移動日（午後）
お別れ会

一年で心も身体も大きくなりました。
子どもたちの成長した姿をお伝えします！



0歳児クラス つぼみ組

つぼみ組の子どもたちはこの一年で色々なことが出来るようになってきました。最近では見たもの、感じたことを仕草や簡単な言葉を使って知らせようとします。また、保育士と関わるだけでなく、友達との関わりを楽しむ姿も出てきました。絵本を読んでいる時に美味しそうないちごが描いてあると、そのいちごをつまんで友達の口に運んであげようとする優しい姿も見られます。いちごを口に食べさせてもらった子も、嬉しそうに口を動かし食べ真似を楽しんでいる、そんな微笑ましい光景が見られます。これからも子どもの気持ちに共感しながら、様々な経験を通して、子ども同士の関わりを大切にしていきたいと思えます。



1歳児クラス すみれ組

園庭で3歳児のお姉さんに手伝ってもらいながらバケツに砂と水を入れてかき混ぜ、ドロドロのチョコレートを作っていました。ボトルケースをテーブルにし、風呂用椅子に座ってまるで店のようです。それを見て同じようにやりたくて近づいていく子もいます。お姉さんが違う遊びを始めたため、1つ椅子が空いていました。その椅子にちょこんと座って同じようにチョコレートを混ぜてにっこり。それを見ていた他の子は自分でバケツとシャベルを持参して仲間入りしました。次々に椅子やシャベルなどを持ち寄り、足りないものは保育士に補ってもらいながら、気が付くとチョコレート屋さんで10人以上になっていました。友達と同じ場で遊ぶことで友達の存在が大きくなってきたすみれ組です。



2歳児クラス ひまわり組

“じゃれつきあそび”という体を使って、人とふれあう遊びを楽しんでいます。“大根ぬき”はマットの上に横になった子ども大根が保育士に抜かれないように「負けないぞー」としがみつきます。また、保育士に追いかかけられると、「きゃはは」と大笑いしながら逃げたり、捕まったりすることを喜んでいます。遊び終わると「あー楽しかった」「またやろう」と満足しています。今ではホールにつながるドアを開けると「何するの」と楽しみにしている姿があります。保育士が走り始めると「きゃー」と子どもたちも喜んで後についてきます。遊びの中で思い切り楽しむ経験をすることが子どもたちの気持ちの成長のきっかけになり、期待感や達成感などを喜びとして感じられるようになってきています。



3歳児クラス りす組

「お医者さんやろっか」と友達を誘って聴診器を身に着けます。「いいね、私はお薬持ってくる」と塗り薬やままごとの毛糸のポンポン、洗濯ばさみ等準備する子もいます。保育士が椅子を並べると「ありがとう」と準備したものを並べ、「次の方どうぞ」と伝えています。するとお家ごっこをしていた子が赤ちゃんを抱いて「この子、お熱なんです」と来ました。かまぼこ板を体温計にして測り、洗濯ばさみで注射をします。「これお薬です」と薬を塗ってあげ「お大事に」と見送ります。そしてまた「次の方どうぞ」の声。子どもたちは、自分の経験を再現してごっこ遊びを楽しんでいます。一年間でグンと遊びが広がり、自分たちで進められるようになりました。これからも子どもたちがよりイメージを広げたり、やりとりを楽しんだりしていけるように遊具等、環境を整えながら関わっていきたいと思います。

4歳児クラス うさぎ組

子どもたちが大好きなリズムは、体を巧みに動かし、周りに認められる経験が自信となって、一人ひとりが輝ける時間になりました。出来なかったことが少しずつ形になっていく嬉しさや、難しいことに挑戦してみようとする気持ち、真剣にやることのかっこよさを感じています。また、保育士がやってみようと呼ぶよりも「出来るようになりたい」という友達の姿が大きな刺激になります。子どもたちは「こんなに出来るようになった」「すごいね」「私も出来るよ、見てて」とお互いの頑張りを尊重し、認め合うことでモチベーションが上がり、意欲的な姿に繋がったと思います。友達との関わりの中で大きく成長した一年間でした。

5歳児クラス きりん組

一年を通して年長組として、当番活動に意欲的に取り組んできた子どもたち。卒園が近くなり、2月からうさぎ組とペアになり人数報告を一緒にやり始めました。自分たちがやってきたことをうさぎ組に伝え、バトンを渡しているところです。りす組との東山公園への散歩では、小さい子を気かけながら、きりん組が道路側を歩いたり、服に着いた芝を払ってあげたり、自然と小さい子に対する優しさが育っていることを感じます。そして、他クラスの職員からは「きりん組さん、いつもありがとう」と言ってもらえることで、自信にも繋がり、子どもたちも大きくなった喜びを色々な場面で感じていることでしょう。保育園生活で学んだこと、大きくなった喜びを胸に、自信を持って小学校へ羽ばたいてほしいと思います。

